

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	地域教育力ネットワーク推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	地域力 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
子どもたちが、同世代また様々な世代間との交流を通して、地域活動に主体的に参加し、豊富な生活体験、社会体験、自然体験を積み重ね、「生きる力」をはぐくむ教育環境が整えられています。		子どもたちの生きる力を育むため、各地区において、世代間交流、体験事業等を実施するほか、こどもサポート看板の設置、パトロール等の共通事業を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名	地域教育力ネットワーク各地区協議会事業数(平成26年度から)			単位	事業
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績			37	37	
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績					
成果指標	指標名	こどもサポート看板設置世帯数			単位	世帯
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績	2260	2270	2270	2270	
成果指標	指標名	各地区協議会事業における児童・生徒の参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	実績	3700	3700	3700	3700	
進捗状況		：予定どおり				
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
子どもたちの「生きる力」を育むため、各地区では様々な事業が実施されました。防災キャンプでは、災害体験学習を通じて防災に関する知識を身に付けたことや通学合宿では、集団生活の中での自主性、協調性、家族の有り難さなどを感じること、カルタ大会では、郷土愛を育むことやルールを重んじる姿勢が培われました。また、全地区共通事業として、見守りパトロール及びこどもサポート看板の設置・管理を実施し、地域で子どもたちを見守る活動を進めました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	子どもたちが地域社会へ主体的に参加し、様々な世代間交流、体験活動を積み重ね、生きる力を育むために、青少年関係団体や学校等で組織する地域教育力ネットワーク協議会は必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	平成9年の発足以来、取組みが確実に定着してきました。地道な取組みの継続により、子どもたちの地域社会への主体的参加が図られ、家庭・学校・地域のネットワークが構築されています。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	事業が子どもたちの「生きる力」を育むことに繋がっているのが「代表者会議」や「役員会」、「全体研修会」を通じて情報交換や検討を重ねており、支援は妥当であると考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	活動自体が各中学校区単位で、協議会が主体的に実施していることから、職員は会議や研修会等に従事するだけで、活動に対しては助言のみをしています。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b>				
各地区協議会がそれぞれの事業を実施する際、事業の企画、事前準備、当日運営、振り返りの各段階において、子どもたちが主体性を持って積極的に関われるように、事業の進め方について改めて検討してもらうことが必要です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援	地域教育力ネットワーク協議会の活動支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,000	1,800	1,800	1,800
事業費 (A)		2,000	1,800	1,800	1,800
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b>	協議会組織の活性化、活動の拡充について定例会や研修会で情報交換をしながら検討していきます。また、多くの地区で子どもたちが芸術文化を体験できるよう検討していきます。
<b>課長コメント</b>	各地区協議会では子どもたちの「生きる力」を育むために様々な体験事業が行われている他、芸術文化を体験できる教室が拡がってきており充実してきています。今後も継続し支援していきたいと考えています。